

関中学校だより

目指す学校像 一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校



関中学校 HP にアクセス

第26号

令和8年2月2日発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

地域、家庭とともに歩む学校 教職員が生きがいを持って働ける学校

3年生は私立高校の入試が一段落し、今は県立高校の受検におけて学習を進めています。1, 2年生も、次の学年を意識して、勉強や諸活動に落ちて取り組んでいます。今年度の学校アンケートの結果より、家庭学習の取り組みに課題があることがわかりました。そこで、家庭での学習のきっかけとなるように、2月から自習タイム、質問タイムを実施していきます。AI型学習教材キュビナ等の活用も行いながら、主体的な学習習慣がつくように取り組んでいきます。また、学年末テスト前の1週間にメディアコントロールに取り組みます。家庭と連携してメディアの利用ルール、規則正しい生活習慣の確立を目指していきたく思っていますので、ご理解、ご協力をお願いします。下記に自習タイムの内容を載せました。2学期の自習タイムの振り返りでは、93%の生徒が肯定的にとらえていたことから3学期も継続して行います。教科担当の先生に質問することもできますので、みんなで落ち着いた雰囲気学習に取り組みましょう。

かていがくしゅう せいこう

家庭学習を成功させるポイント！！

・生徒のみなさんへ

家庭学習で大切なのは、「長い時間」より「集中すること」「続けること」です。毎日決まった時間に、少しでも机に向かうことで、学ぶ力は確実に伸びていきます。まずは授業や復習を大切に、わからないことをそのままにせず、考える習慣を身につけましょう。計画を立てて学習を進められるといいと思います。計画通りにいかない日があっても大丈夫です。あきらめずに続けることが、自分の力になります。

・保護者のみなさまへ

お子様の家庭学習の定着には、結果よりも過程を認める声かけが大きな力になります。「何時間やったか」「点数がどうだったか」だけでなく、「机に向かったこと」「続けようとした姿勢」を温かく見守っていただければと思います。ご家庭での何気ない励ましが、お子さまの学びへの自信と意欲につながります。学校と家庭が連携しながら、お子さまの成長を支えていければと思いますので、よろしくお願いします。

“自習タイム”始まります！！

学年末テストまであと2週間ほどになりました。テストに向けて勉強を始めましょう。場所は各教室内。帰りの会終了後、全員が参加します。自分で学習してもよし！友達と問題を出し合ってもよし！教科の先生は各教室を回るので、先生に質問してもよし！みんなで勉強しよう！！※あくまで自習タイムは勉強するきっかけなので、ちゃんと家でも学習してください。

テスト2週間前：2月2日(月)短縮に変更 15:20～15:50(30分間自習タイム)

6日(金)短縮に変更 15:20～15:50(30分間自習タイム)

テスト1週間前：9日(月)短縮に変更 15:20～15:50(30分間自習タイム)

16日(月)短縮に変更 15:20～15:50(30分間自習タイム)★質問タイム

17日(火)短縮 15:05～15:35(30分間自習タイム)★質問タイム

期末テスト：2月18日(水)19日(木)20日(金)

Welcome to “質問タイム”

学年末テストに向けて、“自習タイム”のあとに“質問タイム”を下記の日程で行います。

“質問タイム”は希望者のみです。

※今回は2回しか予定していません。計画的に利用してください。

開催日：2月16日(月) 15:50～16:20(30分間)

17日(火) 15:35～16:05(30分間)

場所：多目的ホール



【質問タイムの目的】

- ・自習タイムだけでは理解しきれなかった人、個別でじっくり教えてほしい人、授業や家庭学習で分からない問題があるから教えてもらいたい人、教科担当の先生に解き方を見てもらいたい人は積極的に参加し、理解を深めてテストに備える。

- ・家庭だけではなく放課後の時間を使い、集中して勉強する。

※事前の申し込みはなしにします。飛び込み参加でもOK。

ただし、参加の意思がある人はお家の方に声をかけるのを忘れずに！！

ちゅうにちしんぶん せきちゅうがっこう まな や しょうかい 中日新聞に 関中学校の学び舎が 紹介されました

ちゅうにちしんぶんしゃ がっこう けいさい きょだく え がつ にちづけ きじ
中日新聞社より、学校だより、HP に掲載する許諾を得ています。(1月30日付記事)

hi.co.jp

知る 深める 生き抜く

学ぶ



■ 3 ■

保存地区の町並みイメージ
関中学校 (三重県亀山市)

街道!? 実は中庭

休憩時間に中庭で遊ぶ生徒たち。右側の屋根瓦には建築当時の生徒たちが思いを込めた漢字・文字が彫られている(写真①)
※いずれも三重県亀山市の関中で



心安らぐ宿場の風情

生徒たちが遊んでいるのは一見、瓦ぶきの家屋が並ぶ古い宿場町。しかし街道のように見えるのは、三重県亀山市関中の中庭だ。両側は木造校舎。奥に向かって緩やかに曲がり、中庭にはところどころに置かれる「こ」で、他の学年の子ともしゃべれるのが楽しい。水谷有里さん(3年)は笑みを浮かべる。関中があるのは、旧東海道の関宿があった場所の近く。その一帯は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、江戸後期から明治にかけて建てられた家が200棟以上並ぶ。校舎は2011年、耐震強化を目的とした改築を機に、関宿の町並みをイメージして造られた。

樹齢100年 地元杉

木の香りが漂う吹き抜けの多目的ホールも校舎同様に自慢の一つ。柱、床の材料には全て県産の杉を使用した。そ

書道や音楽、広々と

県産の杉がふんだんに使われた多目的ホール



郷土の歴史愛着

開放的だけでなく、生徒たちへのちょっとした気遣いもある校舎は「包み込むような温かさがある」(3年・相山紋朱さん)。「とても落ち着く」(同・渡辺花音さん)と好評だ。建てられてから15年近々だが、校舎はきれいで明るい。「みんな一生懸命掃除をするんです。町並みを感じられることもあり、愛着を持っていきます」と堀内校長。郷土の歴史と木のぬくもりを備えた学び舎が、心安らぐ居場所になっている。

写真・森村敦
文・重村敦



廊下でほっと一息

中庭に沿って曲がっている廊下。一角に板で囲われた休憩スペースがある

関中学校の校舎が完成してから、もうすぐ15年が経ちます。しかし、今でも木の香りがして、新築のようにきれいです。2007年から関中学校校舎改築検討委員会が開かれ、住民とも何度も話し合いを重ねて現在の校舎となりました。当時の要望書には、「関宿の街並みに違和感のない外観にする、生徒同士が語らうことのできる中庭、集会ができる多目的ホールを作る」と書かれていました。生徒たちは、この校舎で、木の温もりを感じながら仲間と交流し、落ち着いた学校生活を送っています。私は、この校舎が生徒たちの心の安定につながっていると感じています。このすばらしい環境で学べることに感謝して、今後も大切に使用していきたいと思っています。